

景況レポート

No.147

2024 年 4 月～6 月期



北見しんきん

〒090-8711 北見市大通東 1 丁目 2 番地 1

電 話（代） 0157-24-7531

URL: <https://www.shinkin.co.jp/kitami/>

本レポートはホームページでもご覧になれます。

景 気 動 向

道内景気

日本銀行札幌支店が7月1日に発表した6月の企業短期経済観測調査結果（短観）によりますと、道内企業の景況感を示す業況判断指数（DI:「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値）は全産業で『17』となり、前回の調査『13』から改善しました。内訳では、製造業（前回9→今回10）は改善、非製造業（前回15→今回19）も改善でした。2024年9月までの全産業での先行き予測は11と、悪化の見通しです。

また7月1日に発表された道内の金融経済概況は次の通りです。道内の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、持ち直している。公共投資は、高水準で推移している。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、堅調に推移している。観光は、回復している。設備投資は、緩やかに増加している。輸出は、下げ止まっている。住宅投資は、減少している。生産は、横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。雇用・所得情勢をみると、緩やかに改善している。

【個人消費】 百貨店は、回復している。スーパーは、増勢が鈍化している。コンビニエンスストアは、横ばい圏内の動きとなっている。ドラッグストアは、増加している。家電販売は、持ち直している。乗用車販売は、下げ止まっている。サービス消費は、回復している。

【観光】 回復している。

【新設住宅着工戸数】 持家、分譲は、減少している。貸家は、緩やかに持ち直している。

【生産（鉱工業生産）】 横ばい圏内ながら、一部に弱めの動きがみられる。主要業種別にみると、食料品、金属製品は、横ばい圏内の動きとなっている。電気機械は、持ち直しの動きが一服している。輸送機械は、持ち直している。

【雇用・所得情勢】 緩やかに改善している。

【消費者物価（除く生鮮食品）】 前年を上回って推移している。なお、前年比伸び率は前月並みとなった。

【企業倒産】 増加している。

地区内景気

今回の当金庫の景気動向調査による北見地区の景況は、前年同期と比較したDI値は、売上高が▲18と2ポイントの改善、収益も▲21と3ポイントの改善でした。直前3ヵ月と比較した今後3ヵ月の見通しでは、売上DI値は▲2、収益DI値は▲7となり、改善の見通しとなっています。

特別調査 【中小企業における災害等への対応について】

激甚化する気象災害に加え、巨大地震の発生も切迫化しています。そこで今回は、「災害等への対応」と題し、保険の加入や耐震対応の現状などについて調査しました。

【普段意識している災害】

「火災(51.9%)」「雪害(25.4%)」「コロナなどの感染症(34.8%)」が全国水準を上回っています。一方「地震(40.9%)」「風・水害(30.9%)」は全国水準より下回ったものの、高い水準となっています。一方、「あまり意識していない」は17.7%で、全国水準よりも高い水準となっています。

【災害への備えの評価と実際】

現在の備えについては、「できていない」の合計が過半数を占め、「できている」の合計が過半数を占めた全国水準と逆の結果となりました。自社の備えをどう感じたかについても、「できている」と比べて「できていなかった」の返答が多くなっています。

【事業継続にかかる保険の加入状況】

「加入している」との回答合計は全国水準よりも高く、特に「財産補償のみ加入(45.3%)」が全国水準に比べて高くなっています。

一方加入していない理由については「自社には必要ない(7.8%)」が最も多い返答となりました。

【建物の耐震状況とハザードマップの確認状況】

耐震状況については、「できていない」「わからない」という返答の合計が過半数を占め、「できている」が過半数を占める全国水準と逆の結果となりました。ハザードマップの確認については、「対策は取っていない」「確認していない」という返答が過半数を占め、これも全国水準と逆の結果となりました。

【現預金の保有状況と災害対策金融支援の利用状況】

現預金の保有状況は、「売上の1～3か月分」が最も多く、全国水準同様の結果となりました。一方「売上の3か月以上(18.3%)」は全国水準を下回っています。

災害対策金融支援については、「コロナ禍の時に受けたことがある(50.3%)」が最も多い一方「受けたことがない(45.9%)」が全国水準を上回りました。

【貴社では、普段どのような災害を意識していますか。1～0の中から3つまで選んでお答えください。】

		【全国】
1. 地震	40.9%	68.2%
2. 火災	51.9%	44.2%
3. 風・水害(台風・ゲリラ豪雨など)	30.9%	43.1%
4. 雪害	25.4%	7.7%
5. 上記以外の自然災害	6.6%	3.6%
6. コロナなどの感染症	34.8%	28.4%
7. 犯罪行為(大規模テロなど)	0.6%	0.9%
8. 国際紛争	2.8%	3.4%
9. その他	1.7%	0.8%
0. あまり意識していない	17.7%	11.5%

【貴社では、自社の現在の災害への備えについてどのように評価していますか。1～4の中から選んでください。また、実際に災害にあった際、自社のそれまでの備えについてどう感じましたか。5～9の中から選んでお答えください。】

現在の災害への備えの自己評価		【全国】
1. できている	5.6%	10.5%
2. どちらかというできている	37.2%	41.0%
3. どちらかというできていない	38.9%	37.6%
4. できていない	18.3%	10.9%

実際に災害にあった際に自社の備えをどう感じたか		
5. できていた	4.6%	5.5%
6. どちらかというできていた	22.4%	27.5%
7. どちらかというできていなかった	20.1%	28.3%
8. できていなかった	13.2%	8.6%
9. 災害にあったことがない	39.7%	30.0%

【貴社では、事業継続にかかる保険、具体的には財産補償(設備や店舗が損壊した時の補償)や休業補償(休業を余儀なくされた時の損害の補償)に加入していますか。加入している方はその内容について1～3の中から、加入していない方はその理由について最も当てはまるものを4～8の中から選んでください。わからない方は9を選んでもください。】

加入している(その内容)		【全国】
1. 財産補償、休業補償の両方に加入	27.9%	30.8%
2. 財産補償のみ加入	45.3%	31.8%
3. 休業補償のみ加入	4.5%	4.7%

加入していない(その理由)		
4. 保険料が高い	4.5%	7.1%
5. 補償内容が狭い	0.6%	1.5%
6. 災害保険についてよくわからない	5.0%	7.0%
7. 保険金額が低い	0.0%	0.3%
8. 自社には必要ない (災害時の損失額が低いなど)	7.8%	6.0%
9. 災害保険に加入しているかどうか わからない	4.5%	10.7%

【貴社では、使用している建物の耐震について、どのように考えていますか。1～5の中から選んでお答えください。また、自社所在地周辺のハザードマップ(洪水や土砂災害、地震・津波など)を確認していますか。状況について最も当てはまるものを6～9の中から選んでお答えください。】

建物の耐震について		【全国】
1. できている	15.5%	20.5%
2. どちらかというできている	26.0%	31.8%
3. どちらかというできていない	21.6%	22.2%
4. できていない	18.2%	12.2%
5. わからない	18.8%	13.2%

ハザードマップの確認について		
6. 確認して、大きな問題はなかった	43.3%	48.1%
7. 確認して問題があり、対策を取った	3.9%	7.2%
8. 確認して問題があったが、 対策は取っていない	12.8%	16.7%
9. 確認していない	40.0%	27.9%

【災害時への対応として、一定程度の現預金を保有しておくことがBCP策定基準などで推奨されています。貴社では、通常、現預金をどの程度保有していますか。現預金の保有が最も少ない時期(売掛金の回収直前など)を想定したうえで、1～6の中からお答えください。また、貴社では、自治体や信用保証協会、政府系金融機関などの公的団体から、災害対策金融支援(災害復旧貸付やセーフティネット保証4号など)を受けたことがありますか。7～0の中からお答えください。】

現預金の保有状況		【全国】
1. 売上の3か月以上	18.3%	28.9%
2. 売上の1～3か月分	34.4%	35.8%
3. 売上の2週間分～1か月分	18.9%	13.7%
4. 売上の2週間未満	7.2%	5.2%
5. ほとんど保有していない	14.4%	9.3%
6. 把握していない	6.7%	7.0%

災害対策金融支援		
7. コロナ禍の時に受けたことがある	50.3%	57.2%
8. 自然災害の時に受けたことがある	0.6%	1.8%
9. コロナ禍、自然災害の両方で 受けたことがある	3.3%	2.8%
0. 受けたことがない	45.9%	38.1%

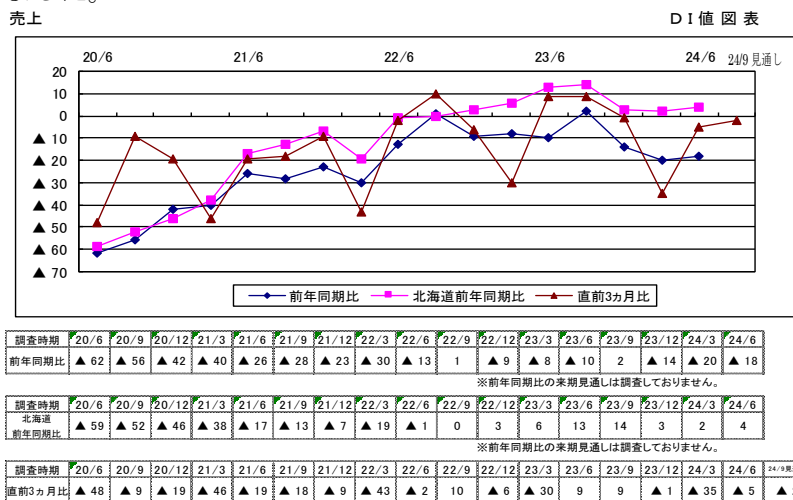
売上

調査対象先企業 181 社の売上を総体的にみますと、前年同期（23 年 4～6 月）と比較して「増加」した先 24%、「変らず」の先 34%、「減少」した先 42%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲18 となり、前回調査より 2 ポイント改善しました。

業種別でみますと、製造業、卸売業、小売業は改善、建設業、サービス業は悪化となっています。

3 ヶ月毎の比較では改善、今後 3 ヶ月は改善の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1 ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。



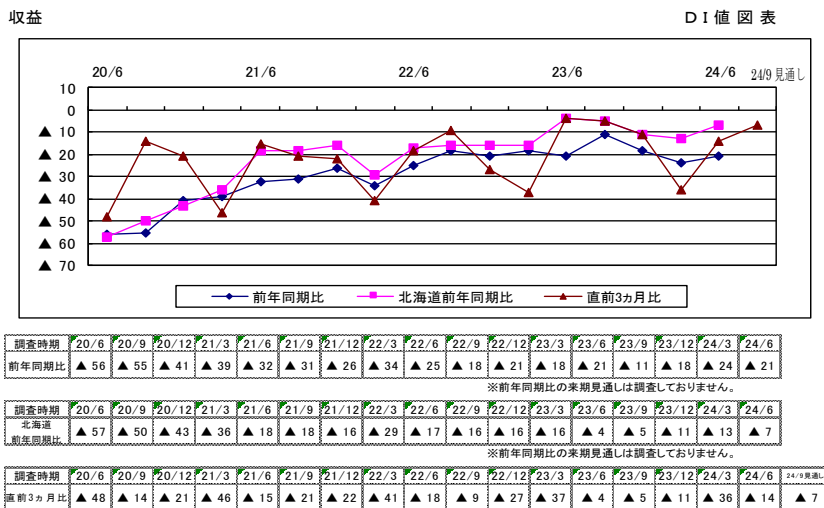
収益

調査対象先企業 181 社の収益を総体的にみますと、前年同期（23 年 4～6 月）と比較して「増加」した先 21%、「変らず」の先 37%、「減少」した先 42%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲21 となり、前回調査より 3 ポイント改善しました。

業種別でみますと、製造業、卸売業は改善、小売業、建設業は横ばい、サービス業は悪化となっています。

3 ヶ月毎の比較では改善、今後 3 ヶ月は改善の見込みです。

グラフに掲載している北海道の「前年同期比」のデータは、本調査と同時に全道の信用金庫によるお取引先を対象とした調査結果のもので、1 ページ目の日銀短観とは別の調査によるものです。



概 況

調査先製造業全体の業況を前年同期（23年4～6月）と比較してみますと、売上で「増加」した先33%、「変らず」の先41%、「減少」した先26%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は7となり、前回調査より55ポイント改善しました。

収益は「増加」した先32%、「変らず」の先33%、「減少」した先35%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲3となり、前回調査より29ポイント改善しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(24/3)	4	8	19	▲48
	今回(24/6)	10	13	8	7
収益	前回(24/3)	5	11	15	▲32
	今回(24/6)	10	10	11	▲3

動 向

【前年同期との比較】

売上、収益とも改善しました。

内訳をみますと、食料品の収益が悪化したものの、その他は全般的に改善しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上、収益とも改善しました。

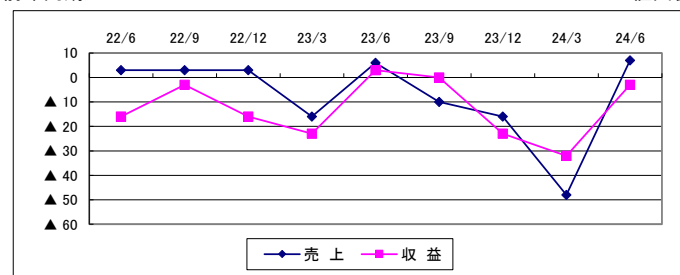
【今後3ヵ月の見通し】

売上、収益とも改善の見通しです。

調査員のコメントには、「人材不足に苦慮、ハローワークへ登録するも良質な人材が来ない」、「慢性的な人員不足であるが、外国人材の活用により賄っている」、「公共工事に受注があり売上は増加見込み」、「資材の高騰により利幅が縮小している」、「管内その他各地へ出向き、商品開発や売込みなど様々な営業活動を行っている」といったものがありました。

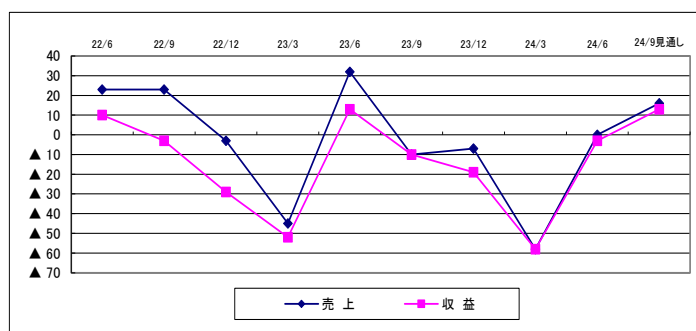
前年同期比

D I 値図表



直前3ヵ月比

D I 値図表



直前3ヵ月比調査の業種別状況(D I 値による) (%)

項 目		全 体	食 料 品	木材製品	建設関連	そ の 他
売 上 額	1月～3月と比較	0	25	22	▲ 25	▲ 33
	7月～9月の見通し	16	37	11	25	▲ 17
収 益	1月～3月と比較	▲ 3	▲ 38	22	▲ 13	17
	7月～9月の見通し	13	▲ 12	11	37	17
販売価格	1月～3月と比較	26	38	▲ 22	63	33
	7月～9月の見通し	26	25	11	38	33
原材料 価 格	1月～3月と比較	52	75	0	88	50
	7月～9月の見通し	52	75	22	63	50
原材料 在 庫	1月～3月と比較	3	13	▲ 11	13	0
	7月～9月の見通し	7	0	11	13	0
資金繰	1月～3月と比較	▲ 3	13	▲ 11	▲ 13	0
	7月～9月の見通し	▲ 3	13	▲ 11	▲ 13	0

概 況

調査先卸売業全体の業況を前年同期（23 年 4～6 月）と比較してみますと、売上で「増加」した先 32%、「変らず」の先 22%、「減少」した先 46%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲14 となり、前回調査より 4 ポイント改善しました。

収益は「増加」した先 27%、「変らず」の先 37%、「減少」した先 36%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲9 となり、前回調査より 18 ポイント改善しました。

販売価格は「増加」した先 32%、「変らず」の先 59%、「減少」した先 9%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は 23 となり、前回調査より 9 ポイント下降しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回 (24/3)	6	6	10	▲18
	今回 (24/6)	7	5	10	▲14
収益	前回 (24/3)	3	10	9	▲27
	今回 (24/6)	6	8	8	▲9
販売価格	前回 (24/3)	8	13	1	32
	今回 (24/6)	7	13	2	23

動 向

【前年同期との比較】

売上、収益は改善、販売価格は下降しました。内訳をみますと、食料品の売上は悪化していますがそれ以外の業種は売上、収益とも改善しています。販売価格はその他が下降、それ以外の業種は横ばいとなっています。

【直前3ヵ月との比較】

売上、収益は改善、販売価格は上昇しました。

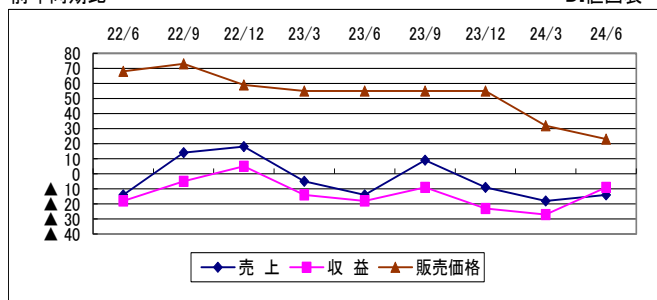
【今後3ヵ月の見通し】

売上、収益は悪化、販売価格は上昇の見通しです。

調査員のコメントには、「人出不足、天候不順が当社在庫にも悪影響を与えている」、「仕入価格が毎月高騰、利益の確保に苦慮している」、「既存商品の陳腐化から売上高は停滞」といったものがありました。

前年同期比

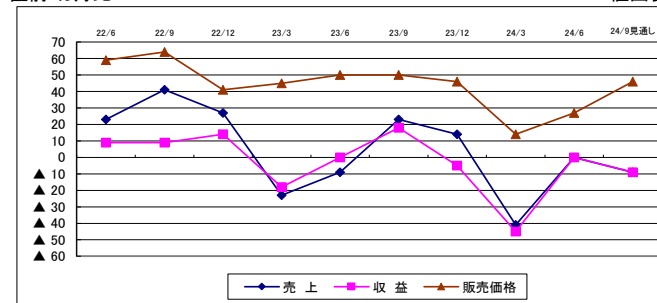
DI値図表



調査時期	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6
売上	▲14	14	18	▲5	▲14	9	▲9	▲18	▲14
収益	▲18	▲5	5	▲14	▲18	▲9	▲23	▲27	▲9
販売価格	68	73	59	55	55	55	55	32	23

直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6	24/9見通し
売上	23	41	27	▲23	▲9	23	14	▲41	0	▲9
収益	9	9	14	▲18	0	18	▲5	▲45	0	▲9
販売価格	59	64	41	45	50	50	46	14	27	46

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	食 料 品	建設関連	そ の 他
売 上 額	1月～3月と比較	0	0	22	▲29
	7月～9月の見通し	▲9	0	0	▲29
収 益	1月～3月と比較	0	0	22	▲29
	7月～9月の見通し	▲9	0	0	▲29
販売価格	1月～3月と比較	27	33	22	29
	7月～9月の見通し	46	33	44	57
仕入価格	1月～3月と比較	32	33	33	29
	7月～9月の見通し	55	33	56	71
在 庫	1月～3月と比較	9	17	0	14
	7月～9月の見通し	5	0	11	0
資 金 繰	1月～3月と比較	▲9	▲17	▲11	0
	7月～9月の見通し	▲9	▲17	0	▲14

概 況

調査先小売業全体の業況を前年同期（23年4～6月）と比較してみると、売上で「増加」した先29%、「変らず」の先27%、「減少」した先44%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲15となり、前回調査より5ポイント改善しました。

収益は「増加」した先20%、「変らず」の先36%、「減少」した先44%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲24となり、前回調査と同じでした。

販売価格は「増加」した先59%、「変らず」の先36%、「減少」した先5%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は54となり、前回調査より25ポイント上昇しました。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(24/3)	9	15	17	▲20
	今回(24/6)	12	11	18	▲15
収益	前回(24/3)	8	15	18	▲24
	今回(24/6)	8	15	18	▲24
販売価格	前回(24/3)	14	25	2	29
	今回(24/6)	24	15	2	54

動 向

【前年同期との比較】

売上は改善、収益は横ばい、販売価格は上昇しました。内訳をみると、衣料品の売上は横ばい、食料品の収益は悪化、それ以外は軒並み改善、上昇となっています。

【直前3ヵ月との比較】

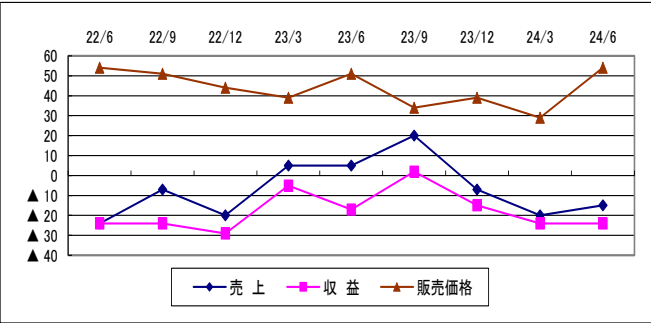
売上、収益は悪化、販売価格は上昇しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上、収益は改善、販売価格は下降する見通しです。

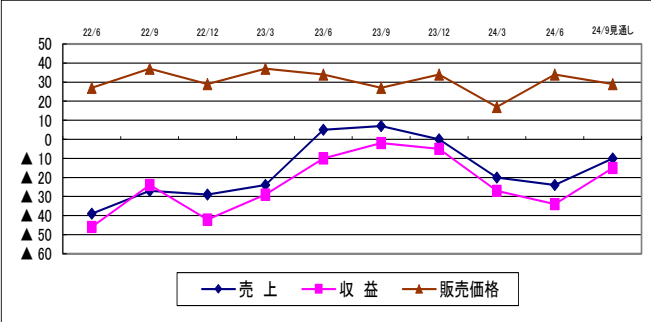
調査員のコメントには、「配送頻度が減少し、商品の確保が難しい」、「地域の少子化により販売数は減少傾向」、「大手競合が進出する話もあることから新規客獲得に努める」、「仕入価格の上昇分については顧客と相談しつつ販売額を上げている状況」などがありました。

前年同期比 D I 値図表



調査時期	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6
売上	▲24	▲7	▲20	5	5	20	▲7	▲20	▲15
収益	▲24	▲24	▲29	▲5	▲17	2	▲15	▲24	▲24
販売価格	54	51	44	39	51	34	39	29	54

直前3ヵ月比 D I 値図表



調査時期	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6	24/9見通し
売上	▲39	▲27	▲29	▲24	5	7	0	▲20	▲24	▲10
収益	▲46	▲24	▲42	▲29	▲10	▲2	▲5	▲27	▲34	▲15
販売価格	27	37	29	37	34	27	34	17	34	29

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	衣 料 品	食 料 品	そ の 他
売 上 額	1月～3月と比較	▲24	▲83	▲12	▲17
	7月～9月の見通し	▲10	▲67	18	▲17
収 益	1月～3月と比較	▲34	▲83	▲35	▲17
	7月～9月の見通し	▲15	▲67	6	▲17
販売価格	1月～3月と比較	34	33	71	0
	7月～9月の見通し	29	33	47	11
仕入価格	1月～3月と比較	41	33	82	6
	7月～9月の見通し	42	50	65	17
在 庫	1月～3月と比較	▲5	▲50	6	0
	7月～9月の見通し	▲2	▲50	6	6
資金繰	1月～3月と比較	▲20	▲50	▲12	▲17
	7月～9月の見通し	▲17	▲50	▲6	▲17

概況

調査先建設業全体の業況を前年同期（23年4～6月）と比較してみますと、売上で「増加」した先12%、「変わらず」の先42%、「減少」した先46%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲34となり、前回調査より8ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先17%、「変わらず」の先37%、「減少」した先46%で、そのD I 値（増加割合－減少割合）は▲29となり、前回調査と同じでした。

調査回答数（前年同期比）

		増加	変わらず	減少	D I 値
売上	前回(24/3)	8	10	17	▲26
	今回(24/6)	4	15	16	▲34
収益	前回(24/3)	8	9	18	▲29
	今回(24/6)	6	13	16	▲29

動向

【前年同期との比較】

売上は悪化、収益は横ばいとなりました。
内訳のD I 値の推移は以下のようになっています。

- ・ 土木売上：前回 8→今回▲15
- ・ 同 収益：前回 17→今回▲15
- ・ 建築売上：前回▲35→今回▲12
- ・ 同 収益：前回▲47→今回 6

【直前3ヵ月との比較】

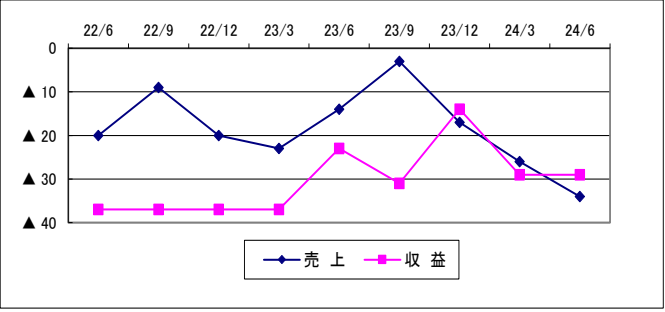
売上、収益とも改善しました。

【今後3ヵ月の見通し】

売上、収益とも改善の見通しです。

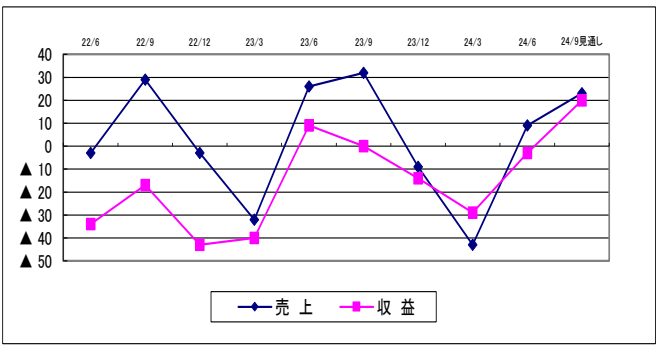
調査員のコメントには、「売上が公共工事主体につき先細りの危機感あり」、「原料高騰により収益確保が難しくなっている」、「資材高騰に加え人件費の増加が苦しい」、「他地域からの業者流入により価格競争が激化している」といったものがありました。

前年同期比 D I 値図表



調査時期	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6
売上	▲20	▲9	▲20	▲23	▲14	▲3	▲17	▲26	▲34
収益	▲37	▲37	▲37	▲37	▲23	▲31	▲14	▲29	▲29

直前3ヵ月比 D I 値図表



調査時期	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6	24/9見通し
売上	▲3	29	▲3	▲32	26	32	▲9	▲43	9	23
収益	▲34	▲17	▲43	▲40	9	0	▲14	▲29	▲3	20

直前3ヵ月比調査の業種別状況(D I 値による) (%)

項目		全体	土木	建築	その他
売上額	1月～3月と比較	9	15	6	0
	7月～9月の見通し	23	31	6	60
施工高	1月～3月と比較	9	15	12	▲20
	7月～9月の見通し	29	31	18	60
収益	1月～3月と比較	▲3	15	▲12	▲20
	7月～9月の見通し	20	31	6	40
請負価格	1月～3月と比較	23	31	24	0
	7月～9月の見通し	23	15	35	0
材料価格	1月～3月と比較	63	77	59	40
	7月～9月の見通し	60	62	59	60
在庫	1月～3月と比較	3	0	6	0
	7月～9月の見通し	0	▲8	6	0
資金繰	1月～3月と比較	0	0	0	0
	7月～9月の見通し	▲6	▲8	▲12	20

概況

調査先サービス業全体の業況を前年同期(23年4~6月)と比較してみると、売上で「増加」した先19%、「変らず」の先37%、「減少」した先44%で、そのD I 値(増加割合-減少割合)は▲25となり、前回調査より25ポイント悪化しました。

収益は「増加」した先15%、「変らず」の先41%、「減少」した先44%で、そのD I 値(増加割合-減少割合)は▲29となり、前回調査より14ポイント悪化しました。

調査回答数(前年同期比)

		増加	変らず	減少	D I 値
売上	前回(24/3)	15	22	15	0
	今回(24/6)	10	19	23	▲25
収益	前回(24/3)	12	20	20	▲15
	今回(24/6)	8	21	23	▲29

動向

【前年同期との比較】

売上、収益とも悪化しました。

内訳をみますと、車輛関係とその他が大きく悪化しています。

【直前3ヵ月との比較】

売上、収益とも改善しました。

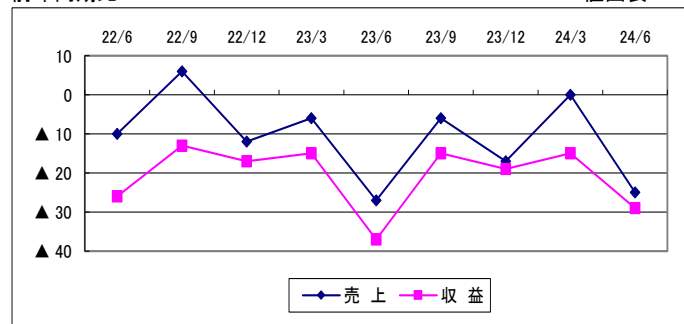
【今後3ヵ月の見通し】

売上、収益とも悪化する見通しです。

調査員のコメントには、「イベントの中止により売上高減少」、「店舗での営業をやめ配達のみ行っているため売上減少している」、「燃料費の高騰により利幅が縮小している」、「人材確保、従業員の高齢化が課題」、「アフターコロナを見据えた販売努力を実施している」といったものがありました。

前年同期比

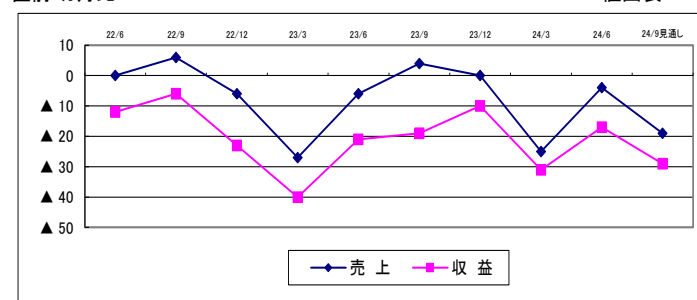
DI値図表



調査時期	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6
売上	▲10	6	▲12	▲6	▲27	▲6	▲17	0	▲25
収益	▲26	▲13	▲17	▲15	▲37	▲15	▲19	▲15	▲29

直前3ヵ月比

DI値図表



調査時期	22/6	22/9	22/12	23/3	23/6	23/9	23/12	24/3	24/6	24/9見通し
売上	0	6	▲6	▲27	▲6	4	0	▲25	▲4	▲19
収益	▲12	▲6	▲23	▲40	▲21	▲19	▲10	▲31	▲17	▲29

直前3ヵ月比調査の業種別状況(DI値による) (%)

項 目		全 体	理容美容	車両関係	そ の 他
売上 額	1月~3月と比較	▲4	▲38	▲21	13
	7月~9月の見通し	▲19	▲25	▲57	0
収 益	1月~3月と比較	▲17	▲25	▲36	▲7
	7月~9月の見通し	▲29	▲13	▲71	▲13
料金価格	1月~3月と比較	25	13	29	27
	7月~9月の見通し	29	13	14	40
材料価格	1月~3月と比較	73	75	93	63
	7月~9月の見通し	71	63	86	67
資金繰	1月~3月と比較	▲15	▲25	▲21	▲10
	7月~9月の見通し	▲19	▲25	▲36	▲10

経営上の問題点 【複数回答】

	1 位	2 位	3 位
製造業	原材料高 51.6%	売上の停滞・減少 45.2%	利幅の縮小 38.7%
卸売業	人件費の増加 36.4%	売上の停滞・減少 31.8%	仕入先からの値上げ要請 27.3%
小売業	売上の停滞・減少 56.1%	商圏人口の減少 29.3%	仕入先からの値上げ要請 26.8%
建設業	材料価格の上昇 68.6%	人手不足 62.9%	売上の停滞・減少 31.4%
サービス業	材料価格の上昇 46.2%	売上の停滞・減少 36.5%	人手不足 30.8%

経営施策 【複数回答】

	1 位	2 位	3 位
製造業	経費を節減する 54.8%	販路を広げる 38.7%	新製品・技術を開発する 38.7%
卸売業	経費を節減する 68.2%	販路を広げる 50.0%	情報力を強化する 45.5%
小売業	経費を節減する 56.1%	品揃えを改善する 36.6%	売れ筋商品を取扱う 22.0%
建設業	人材を確保する 54.3%	経費を節減する 45.7%	情報力を強化する 45.7%
サービス業	経費を節減する 55.8%	販路を広げる 28.8%	人材を確保する 21.2%

【調査要領】

1. 調査地域 北見地方1市4町（北見市、置戸町、訓子府町、美幌町、津別町）
2. 調査時点 2024年 6月
2024年 4月～ 6月期の実績および見込み
2024年 7月～ 9月期の見通し
3. 調査対象企業 当金庫お取引先181社（任意抽出）
回答企業数 181社
回答率 100%
4. 調査方法 調査表による訪問聞き取り調査
調査表は信金中央金庫が実施する「全国中小企業景気動向調査」と同一のものを使用
5. 業種別回答企業数

製造業	卸売業	小売業	建設業	サービス業	合 計
31	22	41	35	52	181

6. 分析方法
各質問項目を100分比に換算し、パーセント（%）数値による分析を行いました。また、好転か悪化の傾向をみる方法として、「増加割合－減少割合＝判断指数（DI値）」で分析を行いました。

企業の経理事務を便利にサポート

インターネットバンキング

WEB－F B

■総合振込 ■給与・賞与振込 ■都度振込 ■口座振替 ■入出金明細照会 ■残高照会

低コスト！

インターネットが使える環境さえあれば、すぐにご利用が可能です。
専用ソフト、専用端末などに余計な経費をかけません。

効率的！

総合振込、給与・賞与振込、都度振込、口座振替業務がインターネット経由でスピーディにご利用いただけます。
振込や振替のデータは外部ファイルから取り込むこともできます。

便 利！

登録先の口座以外でも当日振込が可能です。急な振込がオフィスのパソコンから随時できるので便利。
また、振込完了や為替エラーなど、重要な連絡を電子メールでタイムリーにお知らせします。

安 心！

一般者用ID、承認者用ID、管理者用IDの3つのIDで権限設定が可能です。
登録したデータの承認を貴社の管理者がダイレクトにできるため、厳密なチェックが可能です。
電子証明書とワンタイムパスワードにより、安全にご利用いただけます。

オホーツク圏経済情勢報告（令和6年4月判断）概況

	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較	総括判断の要点
総括判断	持ち直しつつある	持ち直しつつある 【判断の据え置きは、令和5年7月判断以降、4期連続】	➡	個人消費は、物価上昇などの影響がみられるものの、持ち直しつつある。 観光は、緩やかに持ち直している。 また、雇用は、緩やかに持ち直しつつある。

	前回（6年1月判断）	今回（6年4月判断）	前回比較
個人消費	物価上昇の影響がみられるものの、持ち直しつつある	物価上昇などの影響がみられるものの、持ち直しつつある	➡
観 光	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	➡
雇 用	緩やかに持ち直しつつある	緩やかに持ち直しつつある	➡

公共事業	前年を下回る	前年を下回る	➡
住宅着工	前年を下回る	前年を下回る	➡

先行き	先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。		
-----	--	--	--

（注）6年4月判断は、前回1月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

北海道財務局北見出張所調べ